

競技注意事項・連絡事項

今大会参加について

参加者は十分な健康管理を行い、参加の可否については、参加者で判断をして下さい。

体調が万全でない場合は、無理して参加することはご遠慮ください。

※ 大会参加料・受付について

- 参加選手は、来場時に本部席にて受付・参加料の支払いを行うようにしてください。
- 大会が開催された場合、当日、現金支払いをお願いします。
- 団体（学校、実業団、チーム）については、参加者全員の申込料をまとめて支払ってください。
※支払いは、団体で一番最初に受付を行った方がするようにしてください。
- 支払いは、釣銭がないようにしてください。
- 支払い後に大会が中止となった場合は、大会最終日に実施できなかった種目の申込料を返金します。
最終日が中止の場合も返金手続きは行います。
- 大会開催の場合、申し込み後は参加の有無にかかわらず申込料はお支払いいただきます。
大会を欠場された方は、大会開催中に受付まで申込料をお持ちいただくか、郵便振り込みにてお支払いください。
郵便振り【口座番号】 **00930-8-148973**
【口座名義】 明石市陸上競技協会
【通信欄】 ①大会名 ②団体名 ※個人の場合は参加者名前

1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 招集について

(1) 競技者招集場所 競技開始場所（現地集合・トラックはスタート地点）

(2) 招集時刻

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 15分前	競技開始 5分前
フィールド競技	競技開始 25分前	競技開始 15分前
オープン 棒高跳	競技開始 70分前	競技開始 60分前

(3) 招集の手順

- ※ トラック競技の出場者においては、招集を受ける前に、各自でアスリートビブス（腰）を受け取りに行き、右腰に着けた状態で招集を受ける。
アスリートビブス（腰）受け取り場所は、南ゲートからトラックへ入る途中に設置する。係の指示に従うこと。
- ① 競技者は招集開始時刻までに招集場所に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下）・靴底の厚さ（400mまでは20mmまで、800m以上は25mmまで）・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受ける。
- ② 2種目に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、本人があらかじめ、出発係（トラック競技）とフィールド審判員に、競技が重なっている旨を申し出ること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
また、棄権する者は、本人または同チームの選手が、出発係（トラック競技）・フィールド審判員にその旨を申し出ること。
- ④ 招集場所が密にならないよう、招集開始時刻の5分前を目途に集まるようにして下さい。

3. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) スタートについては、「イングリッシュコマンド」とし、1回目に不正スタートをした者を失格とする。
- (3) スタートにおける不適切行為は、TR16.5.2を適用せず、注意にとどめる。
*小学生では、2回目の不正出発で失格とする。
- (4) トラック競技の計時は、写真判定(1/1000秒)とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。
- (5) リレー競技のマーカ―は1カ所とし、出場チームにて用意すること。
- (6) リレーチームの編成メンバーは、リレー又はほかの種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。
ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んでいる競技者であること(TR24.10)。
- (7) リレーチームの編成(オーダー用紙)は、招集完了時刻1時間前までに記録室に提出する(TR24.11)。
- (8) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (9) 助走路が使われるフィールド競技のマーカ―は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されていない場合は、粘着テープを使用してもよい(TR25.3.1)。
- (10) サークルから行うフィールド競技は、マーカ―を1個だけ使用することができる(TR25.3.2)。
- (12) トラック種目でゴールした選手がスタート地点へ戻る際には、メインスタンド雨天練習場、もしくは、芝生スタンド側を通りもどること。本部関前・本部席後ろの通路の通行は禁止します。

4. シューズについて

- (1) 競技用シューズについては、競技規則TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。
ただし、小学生はこの規則を適用しない。
- (2) 明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは靴底厚等の点検を行う。
また、競技終了後においても上記の可能性のあるシューズについては点検を行う。競技者は常時靴を提出できるようにしておくこと。違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。
- (3) フィールド競技においては、中学生、高校生は適用除外にて実施する。
対応方法は、中学生は兵庫県中体連、高校生は兵庫県高体連で決められた通りとする。
- (4) 靴底の厚さ

トラック種目(800m未満)	最大20mm
トラック種目(800m以上)	最大25mm
フィールド種目(除:三段跳)	最大20mm
三段跳	最大25mm

5. アスリートビブス(※ナンバーカード)

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。
跳躍競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載の物と同じでなければならない(TR5.7)。ビブスは各自で用意すること。
※ビブスの大きさは、縦16cm以内×横24cm以内
- (2) トラック競技の出場者においては、招集を受ける前に、各自でアスリートビブス(腰)を受け取りに行き、右腰に着けた状態で招集を受ける。
アスリートビブス(腰)の受け取り場所は、南ゲートからトラックへ入る途中に設置する。
※種目により受け取ることができる時間を制限する場合があります。係の指示に従うこと。
レース後は、各自で元の場所へ戻すようにする(安全ピンはつけたまま)。
※個人または学校・チームとして持っているアスリートビブス(腰)がある選手は、それを使ってもよい。
- (3) 3000mの選手については「別ビブス」を着用する。
レース前に各自で、配布場所(ゴール付近)に取りに行き、自分のレーン番号のビブスを1枚胸につける。
レース後は、各自で元の場所へ戻すようにする(安全ピンは外すこと)。

6. 走高跳・棒高跳におけるバーのあげ方について

(1) 最後の一人になり、1位が決まるまで、以下のバーのあげ方とする。

		練習(選択)	バーのあげ方
男子	走高跳	1 m 1 5 1 m 4 0 1 m 6 0	1 m 2 0 ~ 1 m 8 0 まで 5 c m ずつ 以降 3 c m ずつ
女子	走高跳	1 m 0 5 1 m 2 0 1 m 4 0	1 m 1 0 ~ 1 m 5 0 まで 5 c m ずつ 以降 3 c m ずつ
男女	棒高跳	参加者に合わせて設定する。	

※ 走高跳の練習の高さは選手が選択する。その高さの選手が2回終われば、次の高さの練習を始める。

7. フィールド種目における試技について

- (1) 走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投においては、3回の試技を行う。
- (2) 走高跳・棒高跳においては、各ラウンド3回までの試技が認められ、成功した場合は次ラウンドにおいて同様に3回の試技を行う。
- (3) 計測ラインは設けない。明らかに失敗試技の場合はショートとして計測しない。
- (4) 三段跳の踏切版は、申し込み記録が12 m以上の選手は11 m板
11 m以上の選手は10 m板
11 m未満の選手は 9 m板 ※男女とも同様

8. 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 個人の棒高跳用ポール、やりを使用する場合は、事前に検定を行う。
 - ・ポール 招集時
 - ・やり 7月30日 8:45 南側用器具庫前
- (3) 練習用として個人用の器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

9. 記録証について

- (1) 記録証の発行を希望する選手は、結果通告後、本部記録室へ申し出ること。
- (2) 発行料は1部500円。 ※郵送の場合は、1部600円。

10. 練習について

- (1) 補助競技場(サブトラック)を開放するので、JOGや動きづくり等の練習、またメディシンボールを使用した練習は、こちらで行うようにする。
- (2) メイン競技場では、スピードを上げる練習等で使用するが、競技の妨げにならないよう安全に注意してバックストレート付近で行うこと。

旧バック側走幅跳助走路での練習は認めるが、2日目・3日目は8:30までの使用とする(やり・円盤の関係)

また、走る方向は『南』⇒『北』への一方通行とし、長距離種目や他選手の練習に注意して利用する。

- (3) 雨天練習場での練習は、走練習（流し、快調走、軽いダッシュ）とする。
また、走る方向は『南』⇒『北』への一方通行とする。
スタート地点『南』へ戻る場合は、建物側に沿って前から走ってくる人と接触しないように注意する。
レーンの途中から走り出すことは禁止。
ラダーやミニハードルを設置することや、JOG、リレーの練習は禁止。
※雨天時は選手待機場所となるため、練習での使用は不可。
- (4) ハードルの練習は、主催者が用意したものを使用する。
- ① 利用時間は、3日目（7月31日）のみ、開門後～8：45まで。
- ② レーン割は、
- | | | | | |
|--------|-------|------|--------|------|
| 男子一般高校 | 110mH | バック側 | 8レーン | 3台まで |
| 女子一般高校 | 100mH | バック側 | 7レーン | 3台まで |
| 男子中学 | 110mH | ホーム側 | 7・8レーン | 3台まで |
| 女子中学 | 100mH | ホーム側 | 5・6レーン | 3台まで |
- ③ 第1・2日目の練習は、記録会終了後に行うようにしてください。
- (5) 投てき練習は、補助競技場においてメディシンボールの使用のみとする。それ以外の場所（メイン競技場、メイン競技場入場門外広場付近、公園内）において、物を投げる練習は一切行わないこと。

1.2. 競技場の使用について

- (1) 競技場への入退場はメインスタンド南側ゲートのみとする。
- (2) 選手・競技役員・補助員以外は、トラック及びフィールドに立ち入ることはできない。
- (3) 応援は、メインスタンド、芝生スタンドからのみとする。競技を終えた選手はすぐにスタンドへ上がることに。メインスタンドからの応援は、座席に座った状態からお願いします。スタンド最前列の柵の所に立った応援はしないようにしてください。
- (4) 雨天練習場は走路部分を除いた場所を待機場所として使用可。
但し、走路およびその周辺は練習での使用場所となるため、走路から離れた場所を使用すること。
雨天時には、雨天練習場をチーム待機場所として使用する。その際使い方は別途指示する。
- (5) 各団体においてマナー（観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用など）の指導を徹底すること。
- (6) 更衣室はベンチ代わりに使用しない。更衣での滞在時間は5分以内に済ませ、すぐに出ること。
- (7) 貴重品の管理は各自で責任を持って行うこと。
- (8) ゴミは、各自の責任において家庭まで持ち帰ること。

1.3. その他

- (1) 開門時刻は7：00
- (2) 当日、午前6時の時点で、明石市に気象警報が発令されている場合は、その日の競技は中止です。
- (3) 荒天時でも、警報が発令されていなければ記録会は実施されます。
- (4) 本大会参加料の領収書は、受付にて参加料支払いの際にお渡しします。
- (5) 昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中撮影が許可されるのは下記の場合に限ります。
- ① 大会運営本部より許可され、腕章（ゼッケン）をつけた報道カメラマン。
- ② 大会出場学校の顧問・部員・選手の家族
撮影をされている方に、上記に該当するか、確認をする場合があります。
- ③ スタート地点後方からの撮影は禁止。観戦者はメインスタンドからのみ。
- (6) 競技中に発生した障害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (7) 大会結果は、明石市陸上競技協会ホームページ、アスリートランキングにて公開する。
- (8) 今大会は、競技役員の昼食の用意はありません。